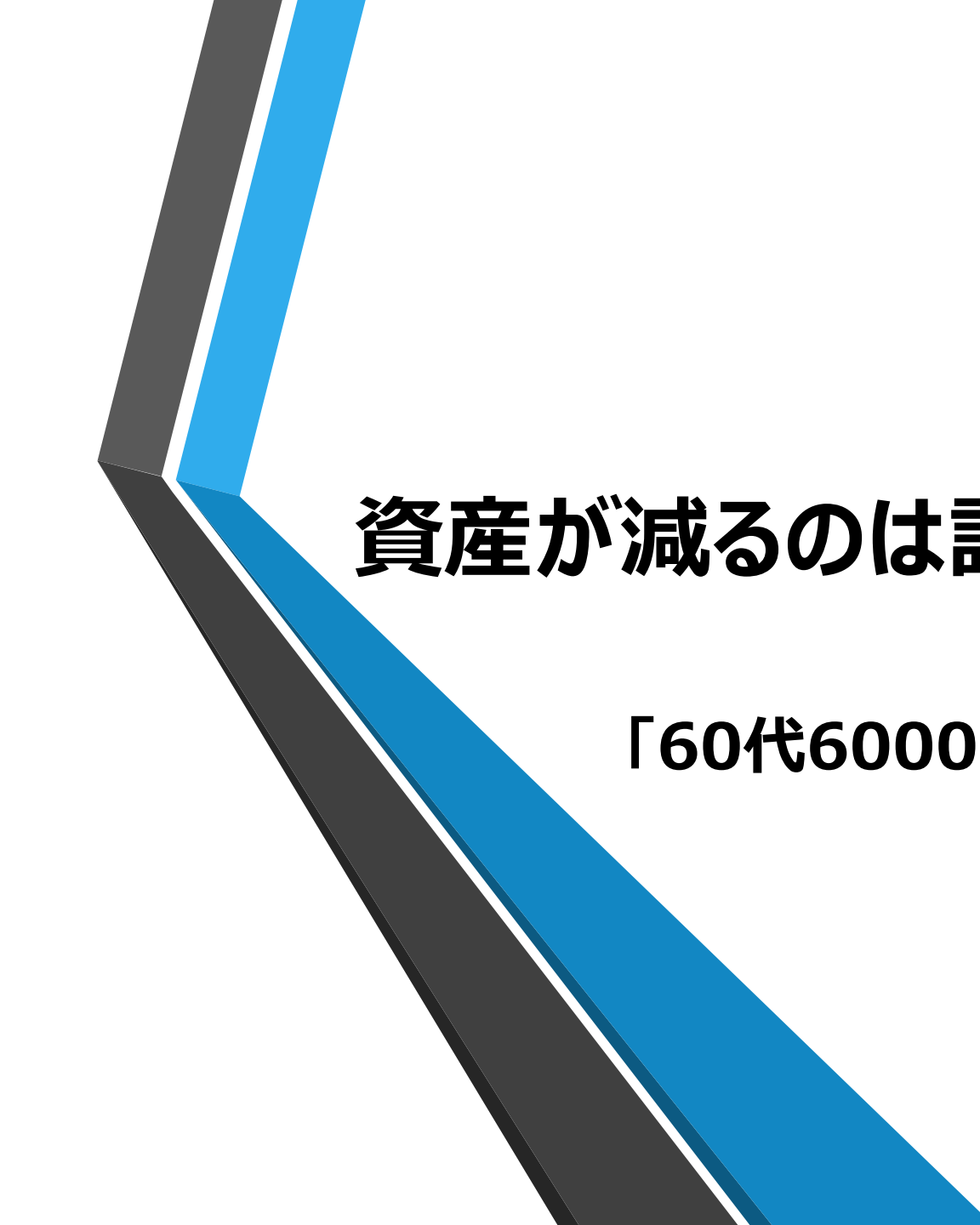




資産が減るのは誰でも嫌だ、でも対策はある！

「60代6000人の声」アンケート調査2025より

合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

2025年5月9日

アンケート調査概要とレポートの特徴

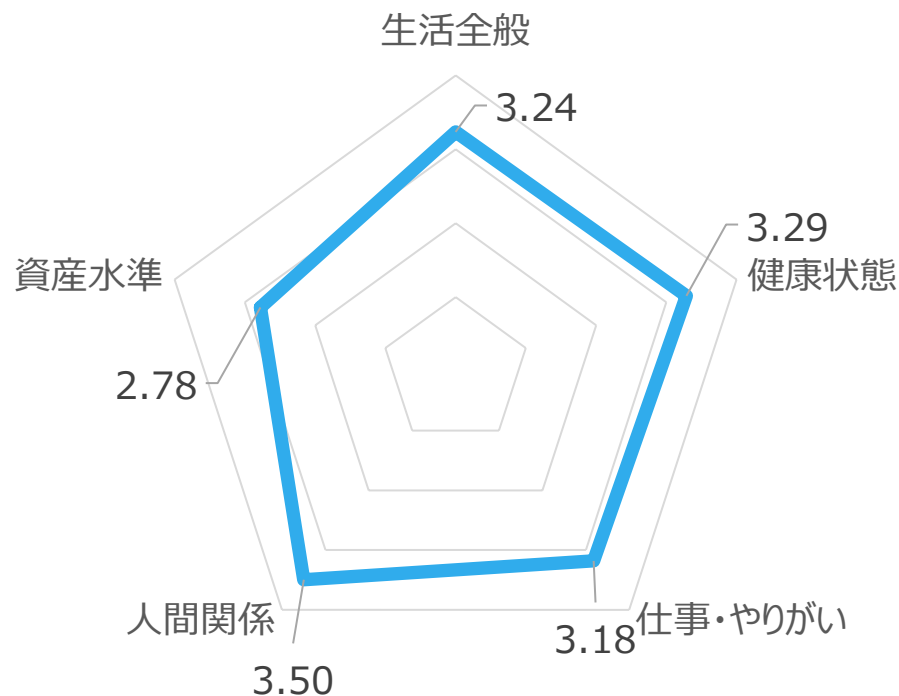
4回目の「60代6000人の声」アンケート調査。回答者は6461人の都市居住者(人口30万人以上の都道府県庁所在の34都市)。継続している移住、満足度の他に、取り崩しの実施状況、70代以上の生活イメージ、賃貸か持ち家かなどを調査。

2025年「60代6000人の声」アンケート調査概要	
調査実施時期	2025年1月28日～2月3日
調査対象	60-69歳6461人（男性4915人、女性1546人）
居住地	3大都市圏2127人、100万人以上都市2159人、30万人以上都市2175人
家族構成	配偶者有り70.2%、同居の子ども有り28.6%、同居の親有り10.4%
持ち家	現在持ち家でそのまま住み続ける69.3%、現在賃貸でそのまま住み続ける22.2%
移住	過去10年以内に移住534人(3大都市から76人、それ以外の都市から458人)
移住の評価	移住して良かった78.1%、思ったほど良くなかった21.9%
世帯資産	資産非保有世帯比率25.0%、資産保有世帯の平均3456.2万円、同中央値1501-2000万円
世帯年収	平均532.4万円 (200万円以下20.0%、201-400万円26.9%、401-600万円20.8%、601万円以上32.3%)
生活全般に対する満足度(満足5点-不満足1点)	平均3.24点（健康状態3.29点、仕事・やりがい3.18点、人間関係3.50点、資産水準2.78点）
新NISA利用状況	活用している25.1%、新NISAになって使わなくなった9.5%、使うつもりはない55.1%
金融資産の取り崩し状況	取り崩していない65.3%、取り崩し始めている34.7%
70代以降の生活イメージ	今と変わらない41.6%、今より良くなっている5.6%、今より厳しくなっている52.8%

3大都市は東京・大阪・名古屋、100万人以上都市は札幌、仙台、さいたま、横浜、京都、神戸、広島、福岡、30-100万未満都市は秋田、宇都宮、前橋、千葉、新潟、富山、金沢、長野、岐阜、静岡、大津、奈良、和歌山、岡山、高松、松山、高知、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇。

資産水準の満足度が低い

5つの満足度の平均(6461人) (単位：点)



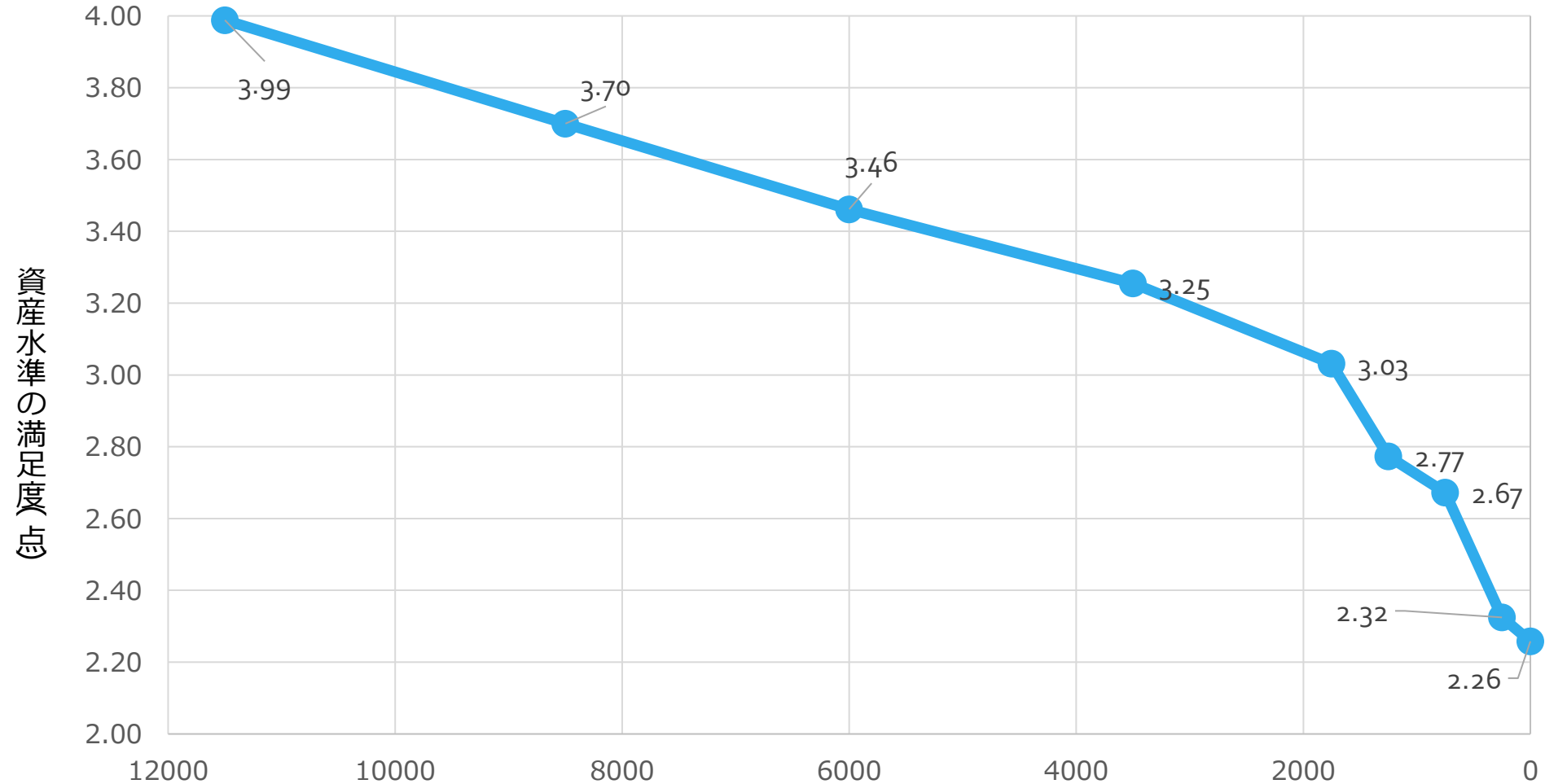
調査年ごとの満足度の推移 (単位：点)

	2025	2024	2023	2022
生活全般	3.24	3.24	3.08	3.17
健康状態	3.29	3.29	3.29	3.30
仕事・やりがい	3.18	3.17	3.15	3.20
人間関係	3.50	3.49	3.50	3.51
資産水準	2.78	2.81	2.69	2.80

(注) 満足度は、5段階評価で、「満足できる」(5点)、「どちらかといえば満足できる」(4点)、「どちらともいえない」(3点)、「どちらかといえば満足できない」(2点)、「満足できない」(1点)の平均。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年から2025年

資産が減れば満足度は下がる

世帯保有資産とその資産の満足度の関係

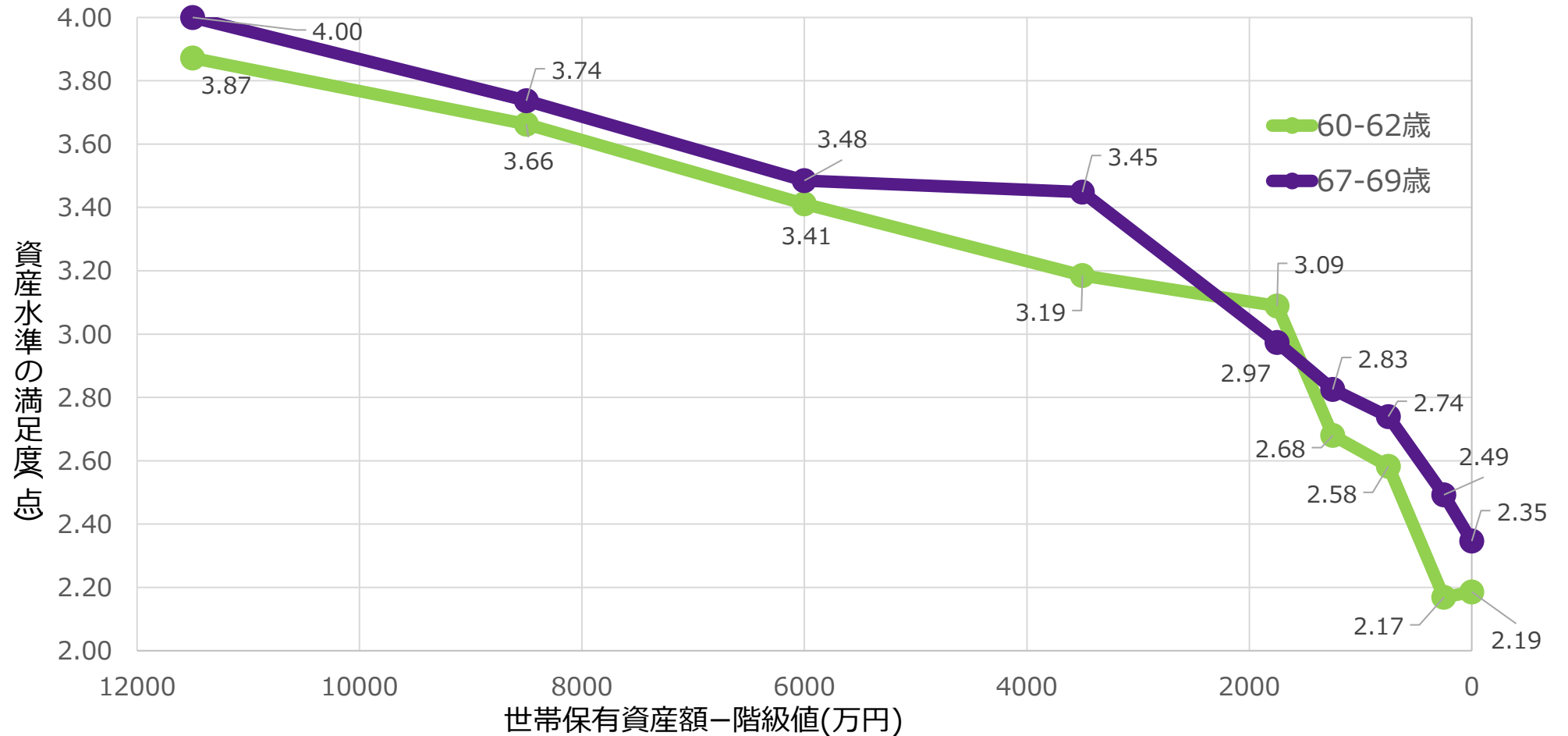


注) 各満足度を「満足できる」から「満足できない」まで5段階評価を行い、世帯保有資産額別に平均値を算出。

出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

対策1：年齢を考慮する

世帯保有資産とその資産の満足度の関係(60-62歳と67-69歳の比較)

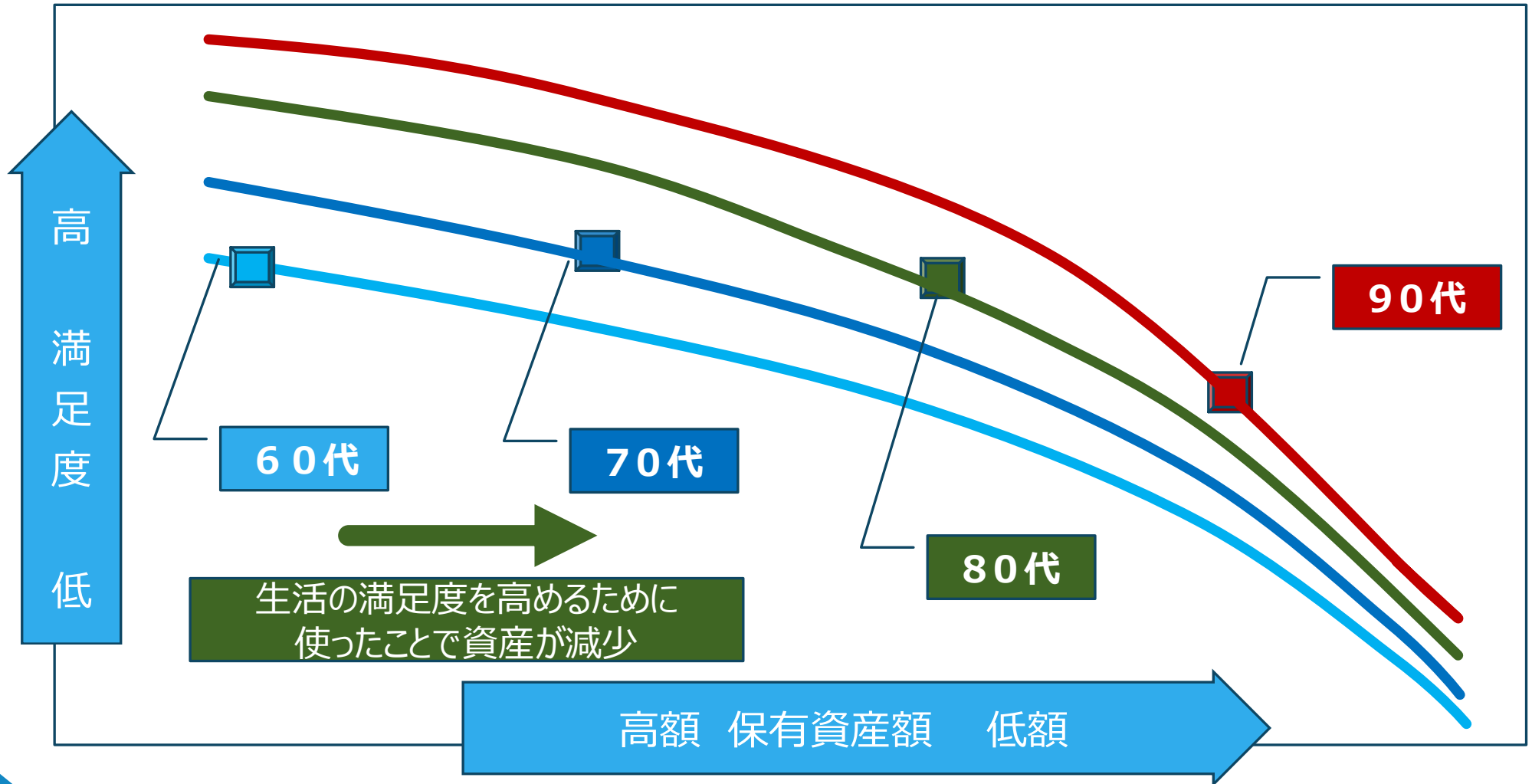


注) 各満足度を「満足できる」から「満足できない」まで5段階評価を行い、世帯保有資産額別に平均値を算出。

出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

年代が上がるにつれて満足度は

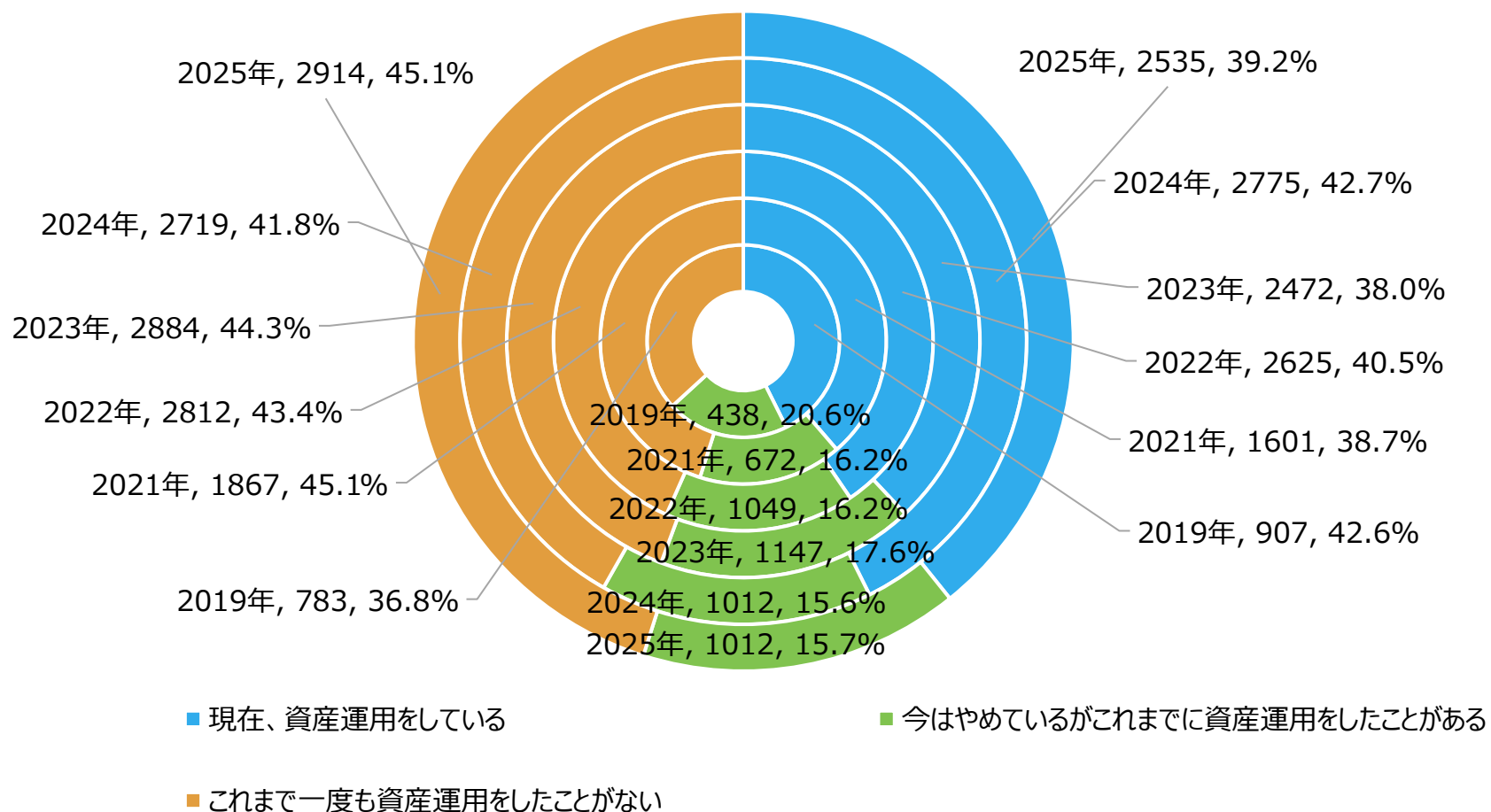
年代別の保有資産と満足度の関係(イメージ図)



出所)合同会社フィンウェル研究所

対策2：資産運用

投資をしている人の比率 (単位：人、%)

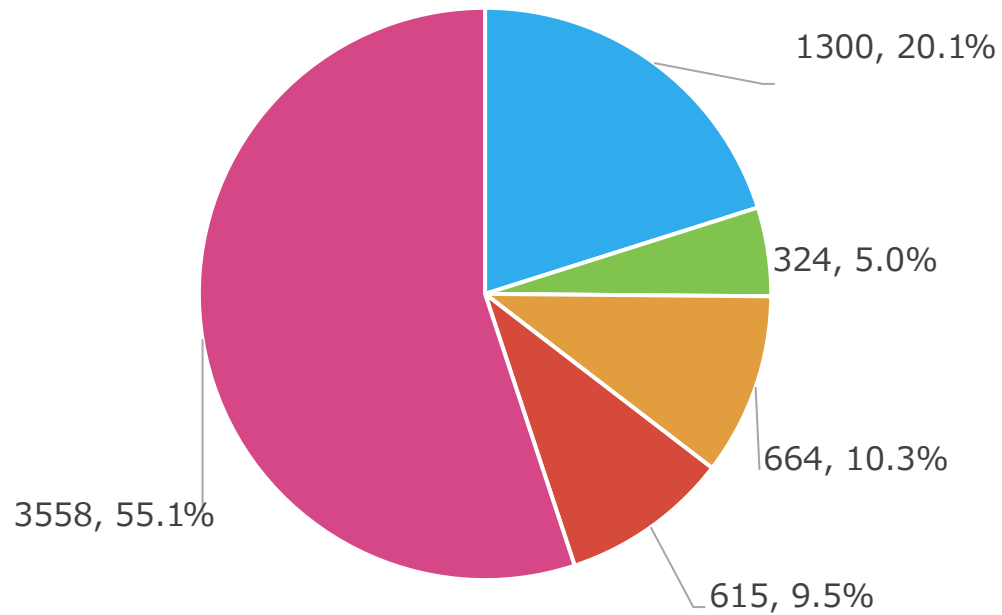


(注)回答者総数は、2019年＝2128人、2021年＝4140人、2022年＝6486人、2023年＝6503人、2024年＝6506人、2025年＝6461人
(出所) 合同会社フィンウェル研究所、地方都市移住調査(2019年、2021年)、「60代6000人の声」(2022年、2023年、2024年、2025年)

投資家の6割が新NISAを活用

新NISA口座の活用状況

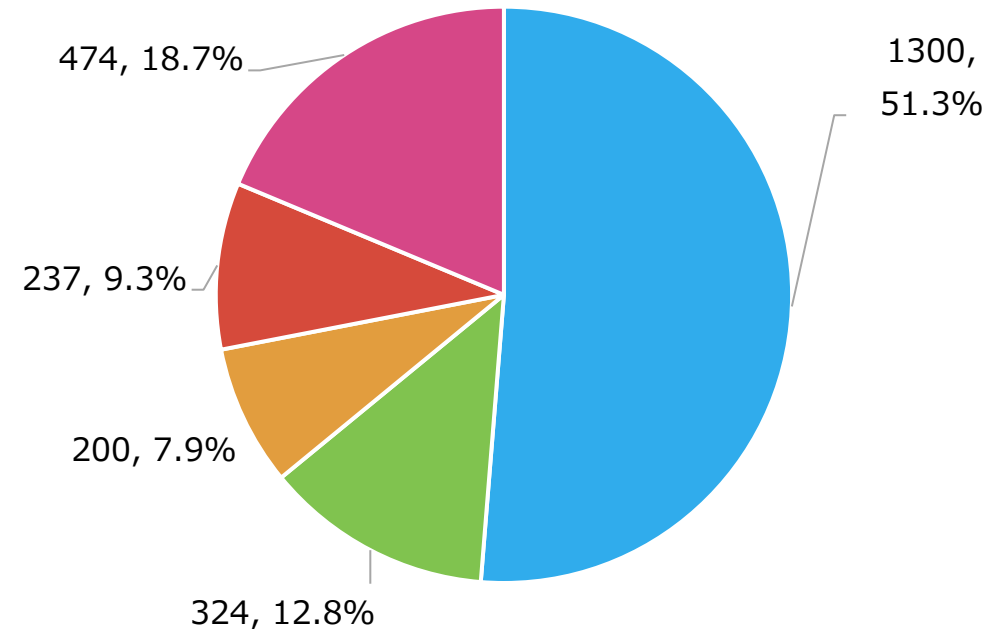
回答者6461人



- 従来からNISAを活用しており、新NISAになっても使っている
- 新NISAのスタートで活用するようになった
- 今後、新NISAを開設するつもり
- (従来のNISAは使っていたが) 新NISAになってから使っていない
- (従来のNISAは使っていなかったし) 新NISAになっても活用するつもりはない

(単位：人、%)

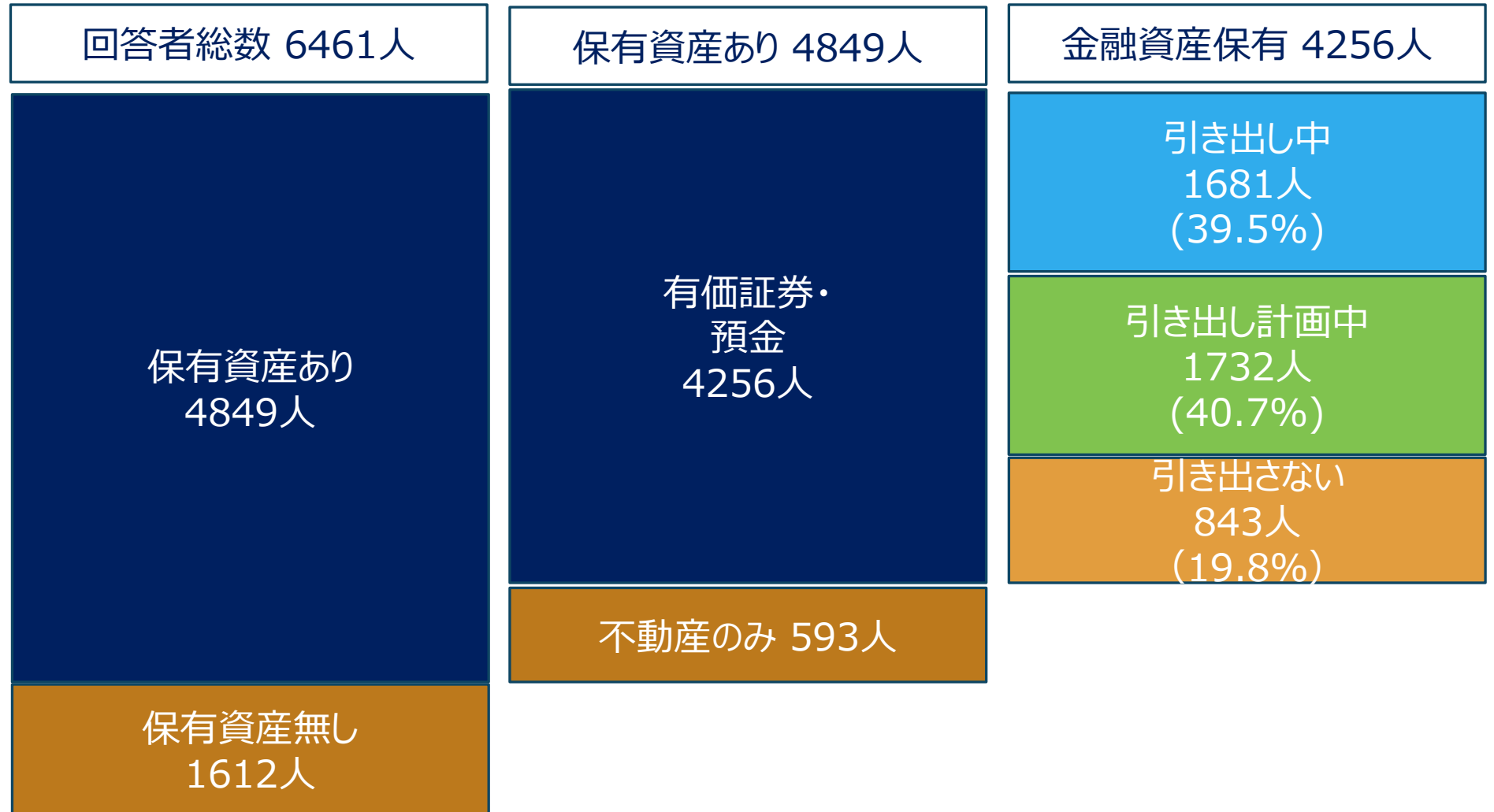
投資をしている2535人



- 従来からNISAを活用しており、新NISAになっても使っている
- 新NISAのスタートで活用するようになった
- 今後、新NISAを開設するつもり
- (従来のNISAは使っていたが) 新NISAになってから使っていない
- (従来のNISAは使っていなかったし) 新NISAになっても活用するつもりはない

(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

対策3：取り崩しを考える

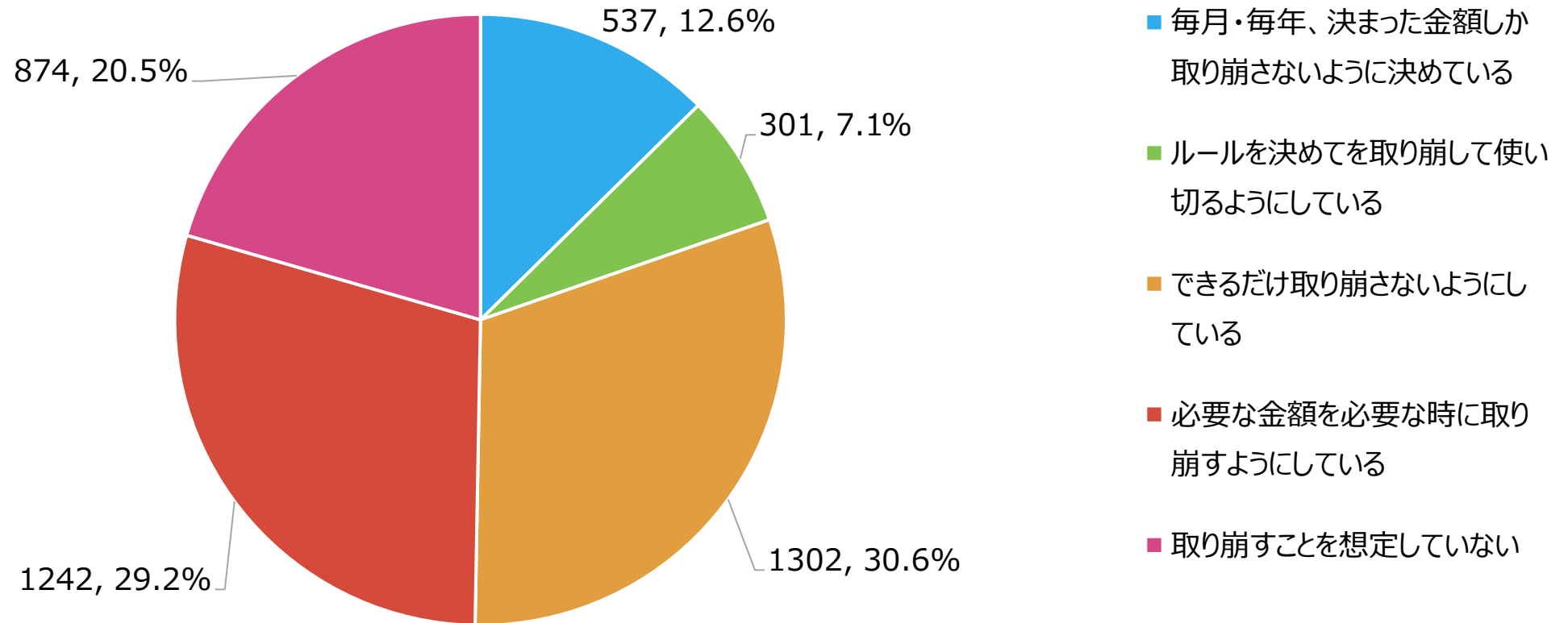


(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

計画的な取り崩しは2割

金融資産の取り崩しのルール

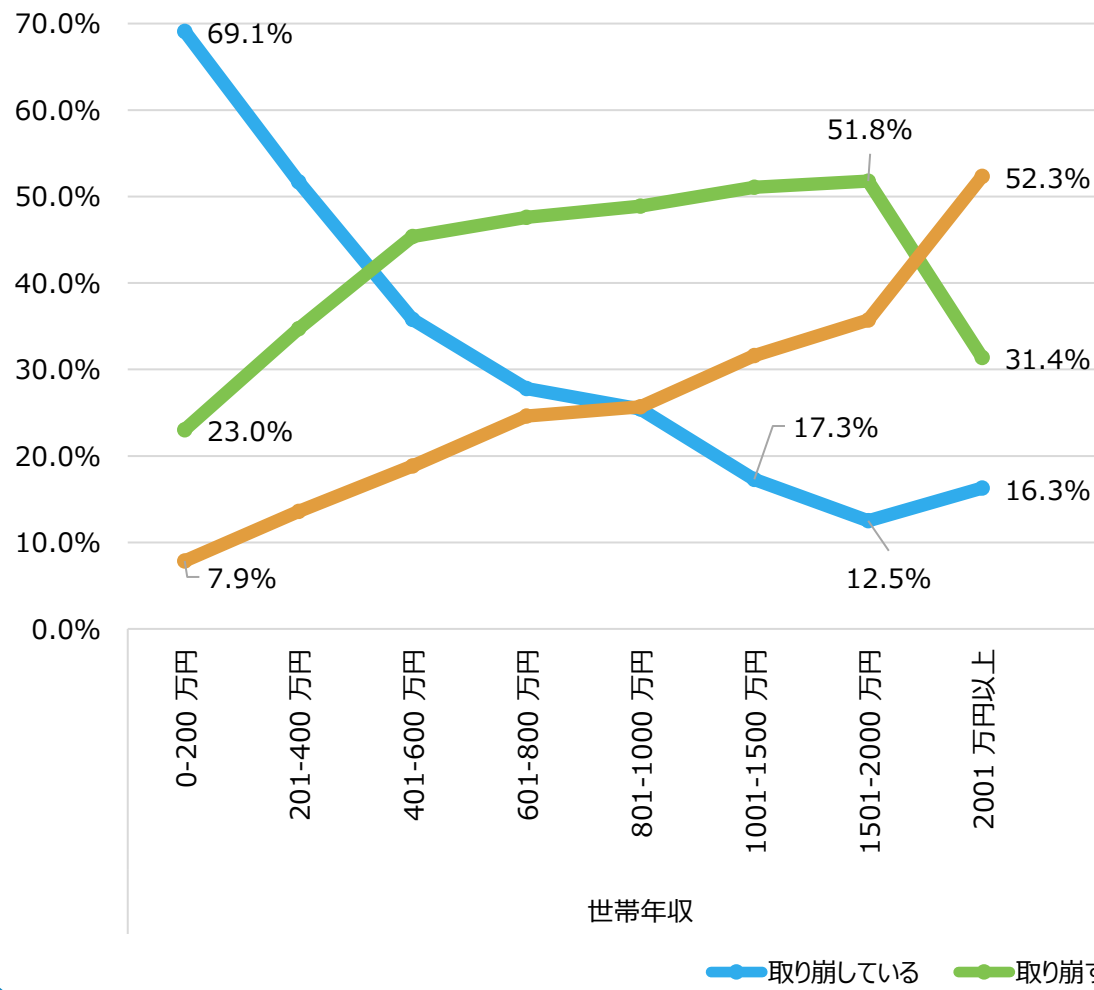
(単位：人、%)



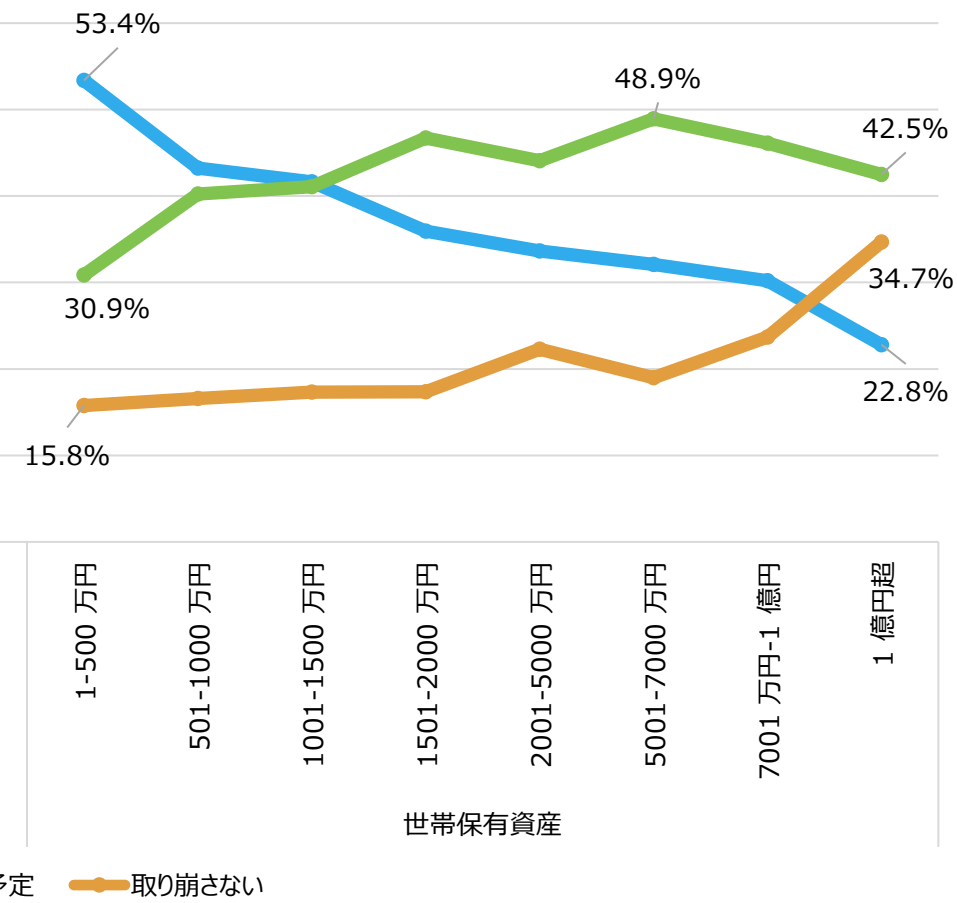
(注)有価証券・預金を保有する(不動産のみを除く)回答者4256人が対象。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

年収が少ないので資産を引き出す

年収帯別 資産の引き出し状況(単位：%)



資産帯別 資産の引き出し状況(単位：%)

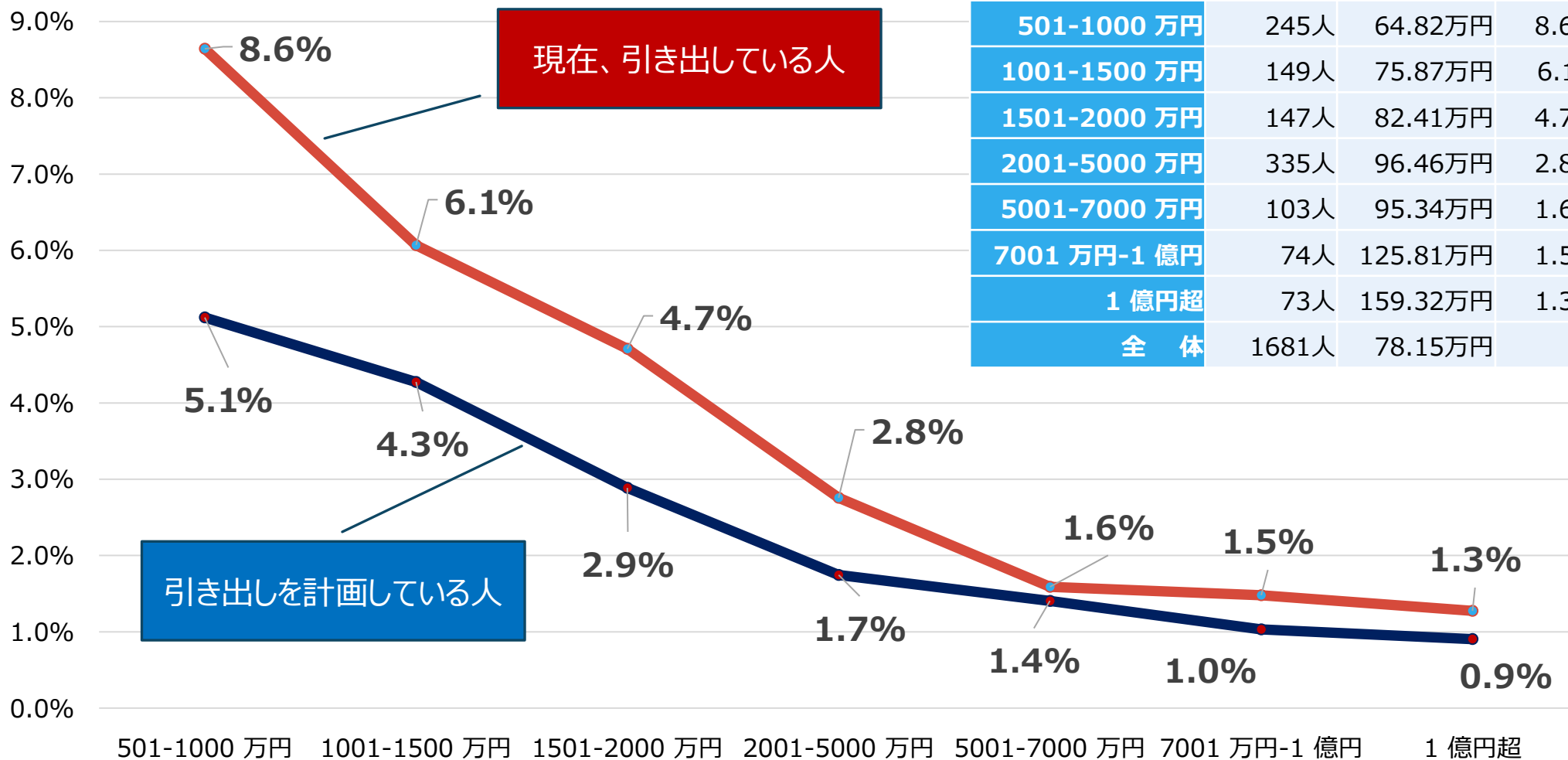


(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

資産3000万円で4%弱の引出率

世帯資産額帯別の引出率

(単位：人、%)

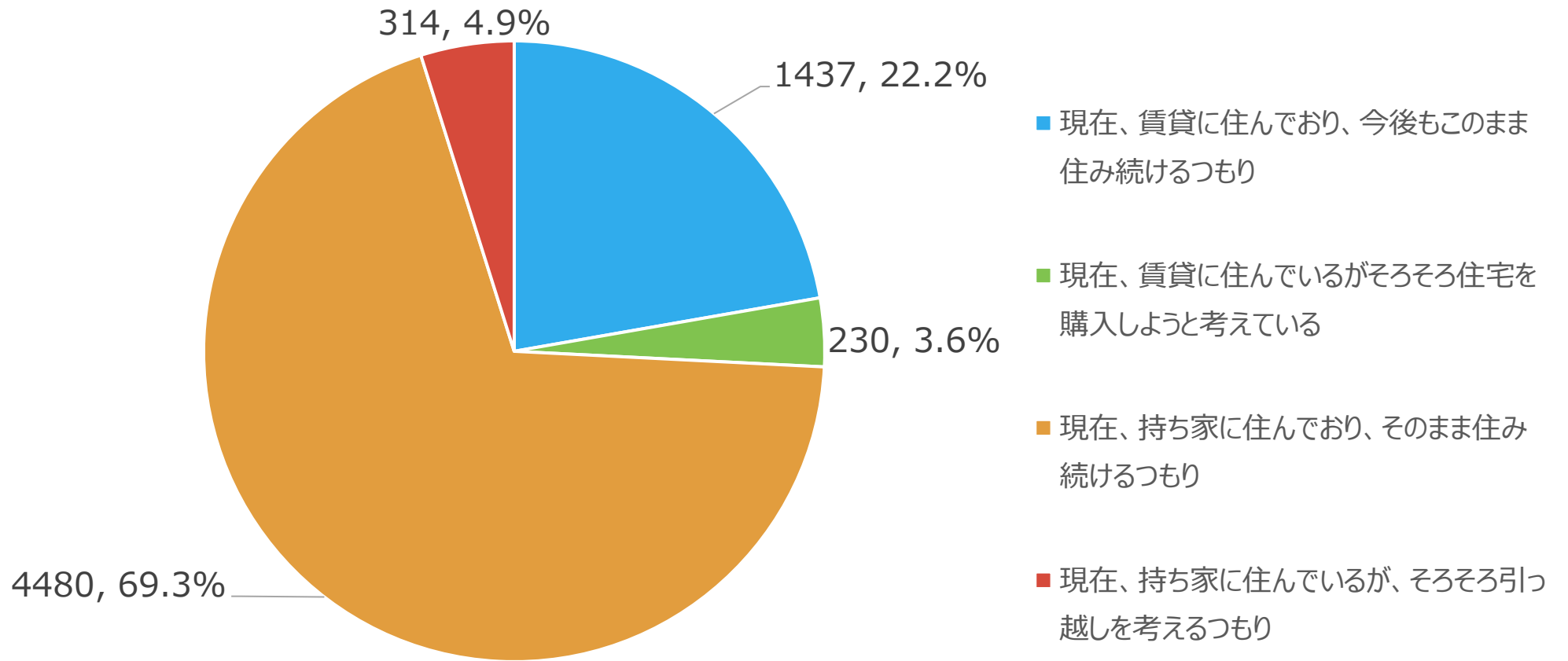


(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

対策4：持ち家は満足度アップ

現在の居住状況

(単位：人、%)



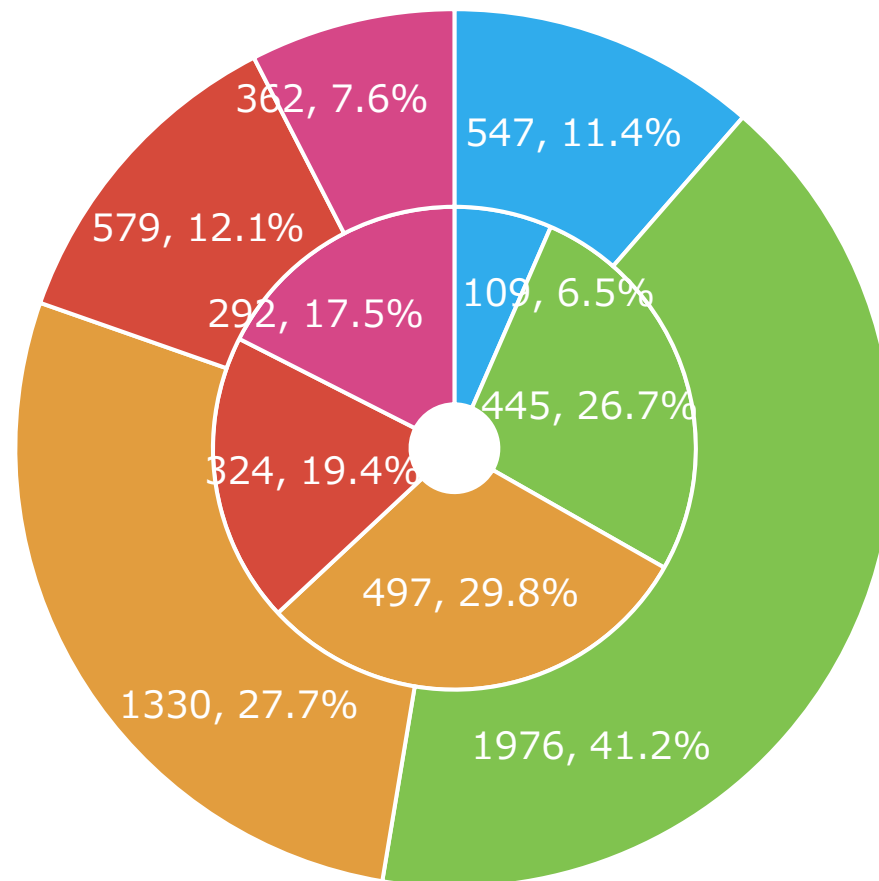
(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

持ち家が生活全般の満足度に

居住状況別の生活全般の満足度

(単位：人)

外円：持ち家
内円：賃貸



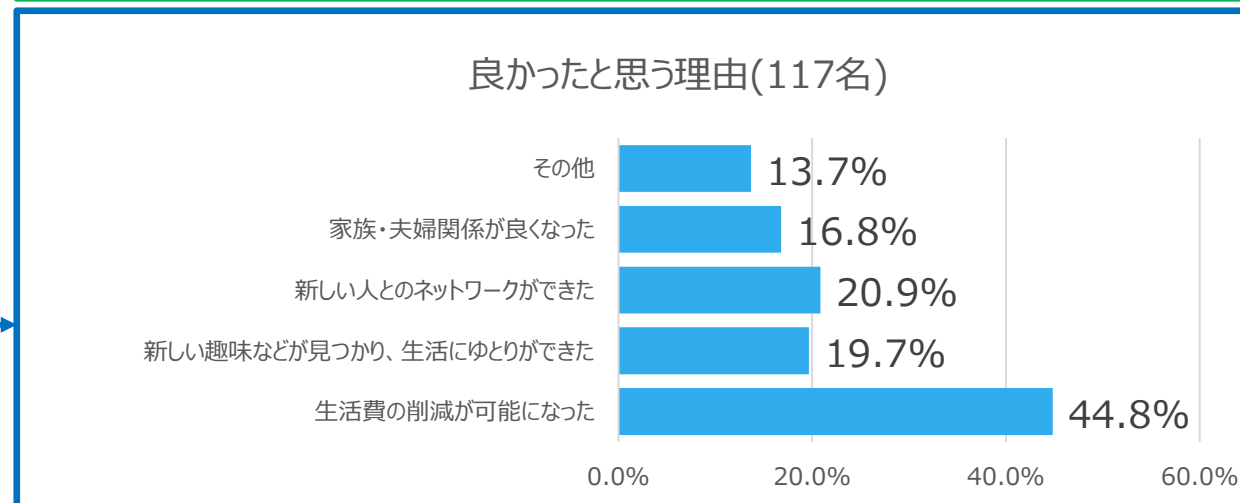
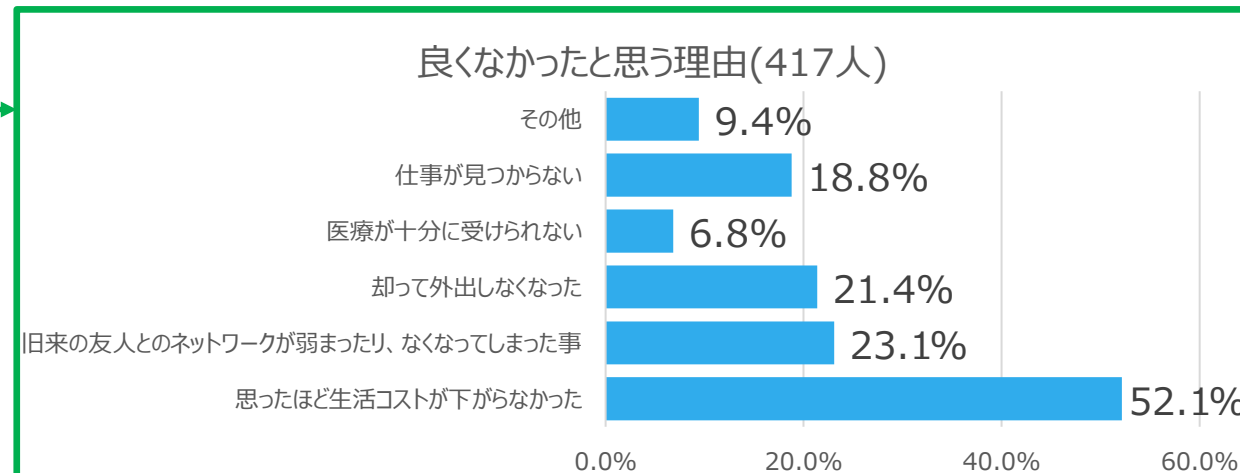
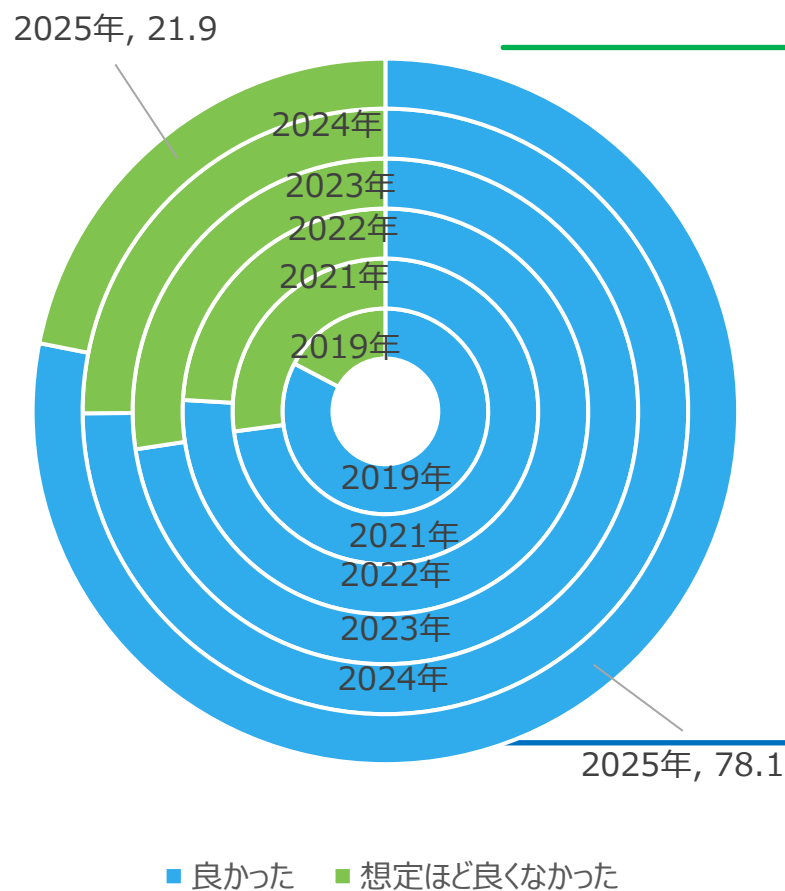
- 満足できる(658人)
- どちらかといえば満足できる(2421人)
- どちらともいえない(1827人)
- どちらかといえば満足できない(903人)
- 満足できない(654人)

(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

対策5：移住を考える

移住をしてよかったか、思ったほど良くなかったか

(単位：人)



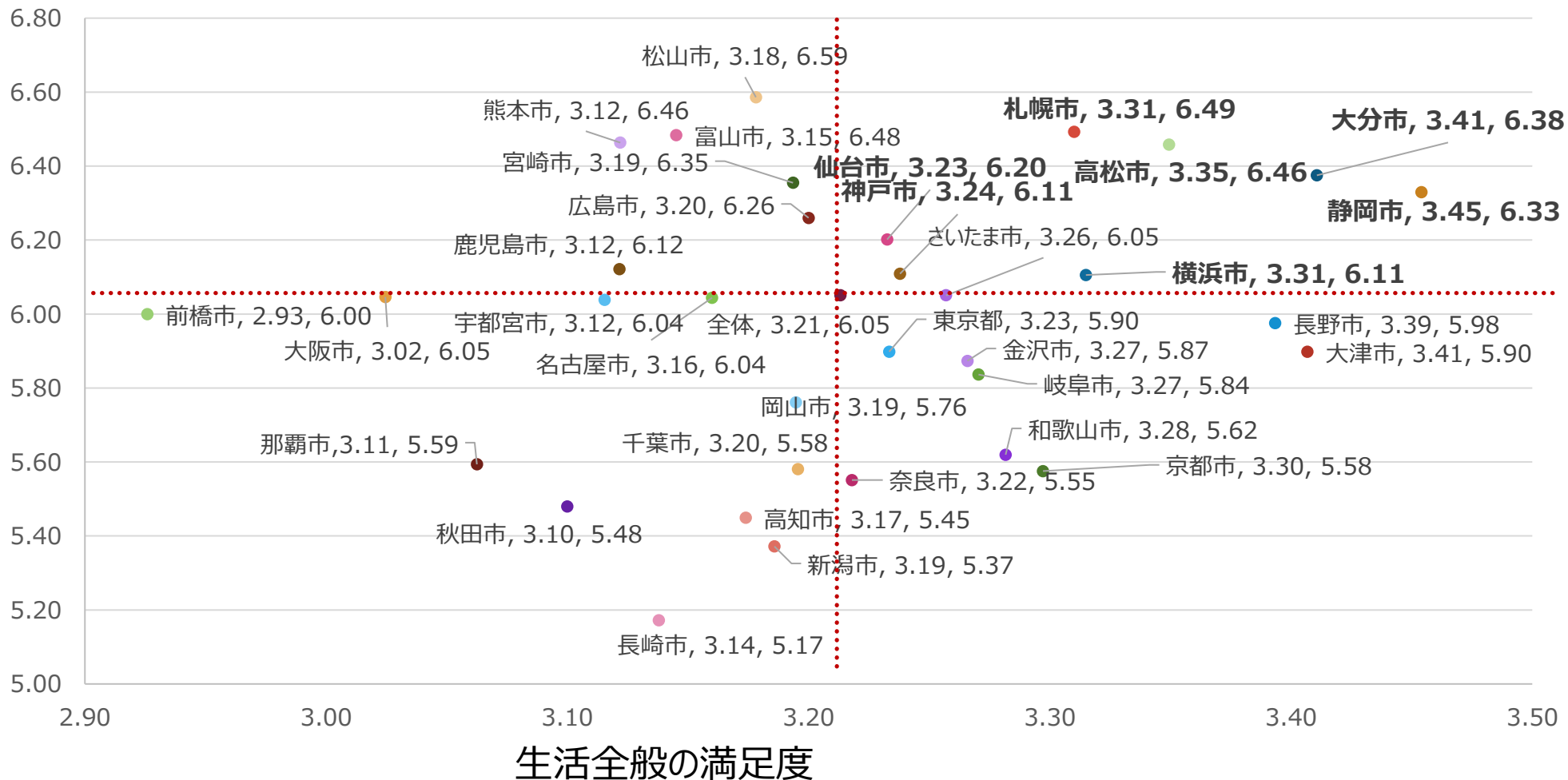
(注)10年以内に地方都市に移住してきた人。2019年306人、2021年269人、2022年440人、2023年435人、2024年431人、2025年524名。(出所) 合同会社フィンウェル研究所、地方都市移住調査(2019年、2021年)、「60代6000人の声」(2022年、2023年、2024年、2025年)

生活全般満足度と推奨度

都市別 生活全般の満足度と退職後の生活推奨度

(単位：点)

退職後の生活推奨度



(注)退職後の生活推奨度は、現在住んでいる都市が退職後の生活場所として他の人に奨めるかを0(住むべきではない)から10(是非住むべきだ)までの11段階で評価してもらった平均値。生活全般の満足度は1(満足できない)から5(満足できる)の5段階評価で聞いた平均値。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所